

2016年7月

## 大学における連携講座の実施状況

## (2016年度開講大学)

前 期 (履修者数:人)	後 期 (履修予定者数:人)
東京家政学院大学 (60)	武蔵野大学<新規> (100)
青山学院大学 (100)	金沢星稜大学 (50)
慶應義塾大学<新規> (370)	神戸国際大学 (40)
県立広島大学 (50)	東北学院大学<新規> (50)

## (2015年度講座からの見直し点)

- ① 金融商品に関する基礎知識を金融経済情勢の変化に合わせて活用し、より適切な選択ができるようになるための能力向上を図るようにした。
- ② 講義に対する理解深耕を図るため、事前に参考資料（講師団体のHPで閲覧可能な教材等）を指定し、予習を奨励した。
- ③ 講義終了後、講師が提示した課題に関するミニ・レポートを作成させ、講義内容の理解と定着を図るようにした。
- ④ 講師陣の拡充を図る観点から、大学所在地の支店・支部の人材等を部分的に登用した。

## (学生の反応等)

- 感想としては、昨年度同様、知識の習得、日常生活で生かせるノウハウの習得、社会を見る眼の広がりなど、前向きな声が大宗であった。
- 講義回数を重ねるごとに、ミニ・レポートが習得済みの知識や視点を踏まえた重層的・複合的な内容に進化する傾向にあり、知識の活用力が幾分伸長しているように窺われる。

以 上